

樹

緑の 相談所だよ

花

2006・7
5号

(財)兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所

秋の七草

兵庫県立大学教授 高橋 晃

「秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびおり)
かき数うれば 七種(ななくさ)の花」

「萩の花 尾花葛花 撫子の花
女郎花 また藤袴 朝顔の花」(山上憶良、万葉集)

秋の七草を歌ったものとしてよく知られた歌です。秋にはちょっと早いかも知れませんが、もうすぐ咲き始めるこれらの植物をみてみましょう。

蒸し暑い梅雨と酷暑を過ぎて人々がふたたび野に出始めたとき、色とりどりに花を咲かせ始めた野の花に気づいたのでしょう。手折ってみたら七つあったというのです。食と関わる春の七草とちがって、秋の七草は勸賞を目的として挙げられています。ハギ、ススキ、クズ、カワラナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウという7種が選ばれたのですが、後世の歌人のみならず植物学者からも良い選択であるとして広く受け入れられています。万葉の昔から現代までこれらの植物は私たちの身近にあって生活に密着した植物です。それぞれにおもしろいエピソードがあります。

◆ 萩(ハギ)はススキとともに秋を代表する植物として俳句や歌に最もよく詠まれています。お彼岸に食べるあんころ餅は、春には牡丹にちなんでぼた餅と呼ばれ、秋には萩にちなんでおはぎと言われます。このように私たちに大変なじみ深いハギですが、植物分類学的にはよく似た仲間が多く、ハギは必ずしも一種類ではありません。地方によって異なる種がハギとして扱われているものと思われます。

◆ 薄(ススキ)はその穂の姿から尾花と呼ばれたり、また茅(カヤ)と呼ばれて屋根を葺く材料に使われたりします。中秋の満月の夜には団子といっしょに供えるという風習がありますが、時間に追われる現代人こそススキを立てて名月を愛でる時間をとるべきかもしれません。ススキの名は、すくすく立つ木という意味や、神楽に用いる鳴り物の木(スズの木)という意味があります。

◆ 葛(クズ)は繁殖力が旺盛なため、手入れの行われなくなった空き地などにつるを伸ばして繁茂して、しばしば嫌われものになっていますが、花は美しくまた甘い香りがあります。古くから丈夫なつるの繊維を使って布地を織ったり、根

から採る葛粉や漢方薬の葛根(カクコン)として使われてきました。

◆ 撫子(ナデシコ)はその生育環境から考えるとカワラナデシコのことと思われます。撫子とは、愛らしい我が子を撫で慈むという意味で、その花の可愛らしさに起因する命名です。ナデシコ類は、石竹を中国からとり入れるなど、日本産を含めて昔から観賞用にかわいがられてきた植物です。

◆ 女郎花(オミナエシ)は女性に見立てられるやさしい風情の姿と、粟飯のような黄色い花の形とから、オンナメシが名の由来とされることがありますが、諸説があり難しいです。同じ仲間の別種に、より大きくて白い花をつけるオトコエシがあります。日当りのよい草原に生えるものですが、最近ではそのような草原自体が少なくなっています。

◆ 藤袴(フジバカマ)はヒヨドリバナの仲間でクマリンのよい香りがあります。全国的に絶滅が危惧される植物で、100年後に絶滅する確率がほぼ100%と推測されています。しかし元々は奈良時代に中国から持ち込まれた帰化植物だと考えられています。当時は各地に植えられていたのでしょうか。いま各地で繁茂しているセイトカアワダチソウも、1000年先には貴重植物に指定されるかもしれません。

◆ 万葉集の歌でいう朝顔はキキョウだとされています。確かな証拠はありませんが、いまでは広く認められています。凜とした花の美しさから武士に好まれ、桔梗の間や桔梗門など、武家の部屋や門の名称、家紋などに使われてきました。この植物もしいに身近には見られなくなり、地方によっては絶滅危惧種に指定されています。

季節感を肌で感じることは大切なことだと思います。みなさんも秋の七草を探しに外へ出てみませんか。



(写真:秋の七草のひとつ キキョウ)

今日の花・わたしの花

毎日誰かの誕生日であり、それぞれの誕生日花、花言葉があります。その花がどんな形をしてどんな香りを漂わせるのか、実際に触れるチャンスのあるものは少ないかも知れません。ただ、人間は想像というありがたい能力を授かっていますから、あれこれ思い巡らせてイメージの世界に遊ぶのも植物との楽しい付き合い方のひとつといえます。花言葉は、受け取る人によってイメージの捉え方が異なり、

多面的な存在であるとはいえ、気持ちを前向きにしてくれるものであってこそ暮らしに役立ってくれます。

四季のある日本でこそ楽しめる変化に富んだ花と緑の風景、季節ごとに繊細に変わる樹木と花の香り、雨や風の音を堪能しない手はありません。花言葉をきっかけとして、同じような毎日の中に新たな発見をし、ポジティブに過ごしていくことで、より豊かな生活を送ることができますように。

| 7月<文月> | | 8月<葉月> | | 9月<長月> | | | | |
|--------|-----------|---------|----|---------|---------|----|----------|----------------------|
| 1 | マツバギク | 心広い愛情 | 1 | ガーベラ | 神秘 | 1 | トラユリ | 私を愛して |
| 2 | キンギョソウ | 欲望 | 2 | ヤグルマソウ | 優雅 | 2 | マリーゴールド黄 | 健康 |
| 3 | ケシ白 | 忘却 | 3 | ポピー | 忍耐 | 3 | マーガレット | 心に秘めた愛 |
| 4 | モクレン紫 | 自然愛 | 4 | トウモロコシ | 財宝 | 4 | ダイコンソウ | 満ちた希望 |
| 5 | ラベンダー | 豊香 | 5 | エリカ | 孤独 | 5 | ケイトウ | おしゃれ |
| 6 | ヒマワリ | 愛慕 | 6 | アサガオ | 結束 | 6 | クルマユリ | 多才な人 |
| 7 | クちなシ | 私は幸せ | 7 | ザクロ | 成熟の美 | 7 | オレンジ | 花嫁の喜び |
| 8 | ミヤコソウ | また逢う日まで | 8 | ツツジ | 愛の喜び | 8 | アロエ | 健康 |
| 9 | アイビーゼラニウム | 真実の愛 | 9 | パンパスグラス | 人気 | 9 | シオン | ごきげんよう |
| 10 | フウリンソウ | 感謝 | 10 | コケ | 母性愛 | 10 | アスター白 | 信ずる心 |
| 11 | ハイビスカス | 勇ましさ | 11 | ゼラニウム赤 | 君ありて幸福 | 11 | アロエ | 万能 |
| 12 | ノコギリソウ | 戦い | 12 | キョウチクトウ | 信用を大切に | 12 | クレマチス | 心の美 |
| 13 | ガクアジサイ | 謙虚 | 13 | ペロニカ | 堅固 | 13 | ネコヤナギ | 自由 |
| 14 | フロックス | 温和 | 14 | ジャーマンダー | 愛敬 | 14 | マルメロ | 誘惑 |
| 15 | バラ | 愛らしい | 15 | ヒマワリ | あこがれ、崇拜 | 15 | ダリア | 華麗 |
| 16 | ストック | 永遠の美 | 16 | オミナエシ | 約束を守る | 16 | リンドウ | 貞節 |
| 17 | バラ白 | 尊敬 | 17 | ユリノキ | 田園の幸福 | 17 | エリカ | 孤独 |
| 18 | モスローズ | 可憐 | 18 | タチアオイ | 熱烈な恋 | 18 | アザミ | 独り立ち |
| 19 | トリカブト | 騎士道 | 19 | スイセンソウ | ウイット | 19 | サルビア | 家族愛 |
| 20 | ブーゲンビリア | 魅力あふれる | 20 | フリージア | あどけなさ | 20 | ローズマリー | 私を思っ |
| 21 | バラ黄 | 美 | 21 | キンミズヒキ | 感謝 | 21 | イヌサフラン | 悔いなき青春 |
| 22 | ナデシコ | 思慕 | 22 | シモツケソウ | 努力 | 22 | ハイビスカス | 華やか |
| 23 | バラ | 温かい心 | 23 | ボダイジュ | 夫婦愛 | 23 | マンジュシャゲ | 陽気な気分 |
| 24 | エンレイソウ | 奥ゆかしい心 | 24 | キンセンカ | 乙女の美しさ | 24 | ダリア黄 | 華麗 |
| 25 | ニワトコ | 熱心 | 25 | アンズリウム | 恋に燃える心 | 25 | クジャクソウ | ご機嫌 |
| 26 | ニガヨモギ | 平和 | 26 | ユウゼンギク | ご機嫌 | 26 | カキ | 自然美 |
| 27 | ゼラニウム | 真実の愛情 | 27 | ゼンマイ | 夢想 | 27 | カシワ | 愛は永遠に |
| 28 | カラー黄 | 素晴らしい美 | 28 | エリンジウム | 秘密の愛情 | 28 | フジバカマ | あの日を懐古 |
| 29 | サボテン | 燃える心 | 29 | ニコチアナ | 孤独を愛す | 29 | リンゴ | 誘惑 |
| 30 | トルコキキョウ白 | 優美 | 30 | ジャーマンダー | 淡白 | 30 | シュウメイギク | 忍耐 |
| 31 | ユリ(ル・レーブ) | 貴重な人 | 31 | レンゲソウ | 心が和らぐ | | | ※花言葉、誕生日花は通説によるものです。 |

環境の世紀を迎えて



(全国都市緑化おおさかフェア)

「環境の世紀」といわれる現代にあって、様々な環境問題に対応する「緑」のもたらす効果や、「緑」を通じた各種取り組みの情報発信、活動学習と機会の提供などの実施について、身近な自然の変化や生物の多様性をも広く検討する必要性を日々実感しています。

この環境問題について、「緑」を専門的に扱い、「緑」を親しむ県民と日常的に接する窓口でもある「緑の相談所」ならではの役割のひとつに、日々の相談業務を通じての県民への提言があります。

地球温暖化、ヒートアイランド現象など、わたしたちと環境問題とは日常の暮らしと無関係ではありません。特別の問題ではなく、身近なそして切迫した問題でもあることを自覚し、日頃の相談のなかでも県民に提供していく大きな役割を持っています。

たとえば、今年とはくに雨が多く、昨年末に今までにない異常寒波を経験するなど、体感できる地球レベルでの環境の変化を専門的なデータの蓄積によって提言していく必要があります。

環境の世紀を迎え、改めて緑の相談所の果たすべき役割の大きさを実感しているところです。

(文責・写真:相談員 岸野 二三子)



(屋上緑化モデル)

花ごよみ

| | 花名 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------|-------------|----|----|----|
| フラワーセンター | トレニア | | | ● |
| | バーベナ | | | ● |
| | パキスタキス | ● | | ● |
| | ペンタス | ● | | |
| | スイレン | ● | | ● |
| | ルドベキア | | | ● |
| | ハギ | ● | | ● |
| 甲山森林公園 | サルスベリ | | ● | ● |
| | ショウブ | ● | ● | |
| | ノリウツギ | | ● | ● |
| | ツクシハギ | | ● | ● |
| | ハンゲショウ | ● | | ● |
| | サワヒヨドリ | | ● | ● |
| | アキノタムラソウ | | ● | ● |
| 一庫公園 | ネムノキ | ● | ● | |
| | ナツフジ | ● | ● | |
| | カラスザンショウ | ● | ● | |
| | マルバハギ | | ● | ● |
| 有馬富士公園 | ナツズイセン | ● | ● | |
| 北播磨余暇村公園 | バラ | | ● | ● |
| | ムクゲ | | ● | ● |
| 明石公園 | アメリカデイゴ | | | ● |
| | ヘメロカリス | | | ● |
| | スイレン | | | ● |
| | スイフヨウ | | ● | ● |
| | マルバハギ | ● | | ● |
| 西猪名公園 | サルスベリ | ● | | ● |
| | クチナシ | ● | | ● |
| | イリオモテアサガオ | ● | ● | |
| 赤穂海浜公園 | アメリカデイゴ | ● | ● | ● |
| | アメリカノウゼンカズラ | ● | ● | |
| | サルスベリ | ● | | ● |
| | ハマボウ | ● | ● | |
| | ムクゲ | | ● | ● |



花と緑の行事ほか

県立都市公園、フラワーセンターでは、7月～9月にかけて、次の催しを計画しています。

| 7月 | | |
|----------|----------------------|-----------|
| フラワーセンター | 観葉植物特売会 | 7/1～8/15 |
| | 食虫植物展 | 7/23～8/27 |
| 赤穂海浜公園 | 水辺の植物の寄せ植え教室 | 7/12 |
| 甲山森林公園 | 野鳥観察会 | 7/1 |
| | 植物観察会 | 7/22 |
| 明石公園 | よさこい兵庫2006 | 7/30 |
| 緑の相談所 | 第20回あさがお展 | 7/26～31 |
| 8月 | | |
| フラワーセンター | ハーブ摘み取り体験 | 8/6 |
| 赤穂海浜公園 | 観葉植物の寄せ植え教室 | 8/9 |
| 甲山森林公園 | 植物観察会 | 8/19 |
| | 野鳥観察会 | 8/26 |
| 明石公園 | 明石市民まつり2006 | 8/26 |
| 9月 | | |
| フラワーセンター | 秋のディスプレイ&箱庭ガーデンコンテスト | 9/9～10/1 |
| | 植物スケッチ展 | 9/23～10/3 |
| | 秋の種子・球根特売会 | 9/24 |
| 赤穂海浜公園 | カラーリーフを楽しむ寄せ植え教室 | 9/13 |
| 甲山森林公園 | 植物観察会 | 9/9 |
| | 野鳥観察会 | 9/24 |

(※日程・内容については変更することがあります。)

ひまわりとゴッホ

ひまわりは夏の代表的な花のひとつ。郷愁の中でのひまわりはすらりとした数本の背の高いひまわりでしょうか。一面黄色に染まったひまわり畑、映画「ひまわり」のイメージを思い浮かべる人もいることでしょう。最近では“ゴーギャンのひまわり”、“ゴッホのひまわり”など画家の画風イメージのものや、草丈の低いもの、八重咲き、ココア色など驚くほどバリエーションに富んでいます。

花の形のもつイメージから、洋の東西を問わず「太陽の花」と呼ばれており、名前の通り花が太陽の動きにつれて回るといわれていますが、実際はつぼみのときだけのようです。

種子はそのまま炒っておつまみに、種子から採った油は石鹸や洗剤に、茎や葉は家畜の飼料として利用されてきました。古くから人の暮らしには欠かせない植物とも言えます。

ところで、「ひまわり」を描いた画家といえばヴァンセント・ファン・ゴッホの名を誰もが思い浮かべることでしょう。オランダに生まれ、30代後半で自ら命を絶った天才画家ゴッホ。彼が精力的に作品を描いたのはわずか10数年足らずであったにもかかわらず約2000点の作品をその凝縮された人生で描きました。

独特のうねるようなエネルギー、情熱的で鮮やかな色彩はインパクトが強く、心揺さぶられるものがあります。画家として最盛期でもあったアルル時代に描いた7点のひまわりはどれもがほぼ同じ構図であり、ゴッホ自身を映し出すシンボルであるかのようです。



彼は浮世絵の収集家としてもよく知られており、精神面において日本への憧れを抱いていたようです。残されている画家仲間への手紙に、日本人のことを「まるで自身が花であるように、自然の中で生きる。」という表現がみられます。また、一心同体ともいわれた弟テオに宛てた書簡には、「調和があり、兄弟のように花のように自然の中に生きて」いるとも。自然との乖離がいられている現代に古きよき心を思い出させてくれるようなフレーズです。

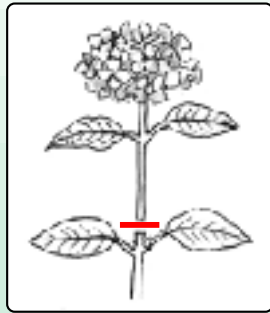
ひまわりの花言葉は「あなたは素晴らしい」。そんなメッセージを自然とだれかに発することができるような、誰もがもともと持っているパワーを思い起こしたいものです。

1. アジサイの花後の剪定

Q 庭植えのアジサイが大きくなったので切り詰めたところ、花が咲かなくなりました。花を咲かせる剪定はどの様にすればよいでしょう。

A 剪定の方法を変える必要があります。剪定の時期は花が咲き終わった直後が適期で、遅くとも7月下旬までに行います。剪定後の8月中旬頃までに、剪定した枝の新芽が成長を開始しますので、花芽のできる10月までに新芽を充実させておくことが必要だからです。8月以後に剪定を行うと新芽の発生が遅れ、10月頃の花芽分化（花芽のもとができること）の時期までに枝が十分充実せず翌年花が咲きません。また秋以後に切り詰めると花芽そのものを切ってしまう場合も花が咲きません。

剪定の仕方は花が咲き終わったら、今年咲かなかった枝を残して、咲いた枝の花柄の下、1節目には芽が無いので、むだな枯れ込みを残さないように2節目以下の節の上1cm以内で切ります。2節目以下の強い芽が伸びて来年に咲く枝になります。



2. シャコバサボテンの花を一斉に咲かせる

Q シャコバサボテンの開花時期が不揃いで、少しずつしか咲きません。一斉に咲かせる方法はありませんか。

A 短日植物であるシャコバサボテンの花芽分化（花芽のもとをつくること）は光（日照時間）と温度の条件が整わなければなりません。日長11～12時間程度（短日）で夜温15℃前後の低温という2つの条件が整ったときに花芽分化をします。しかし、このような環境条件になっても、シャコバサボテン自体に次の様な態勢が整っていないと花芽分化しません。株の成長が止まっていること、最先端の莖節（葉の様な部分は莖にあたり「莖節」と呼ばれています。）が充実して、先端部も成長が止まっていること等です。

そこで9月に秋の芽摘みを行い、成長をストップさせて莖節の成熟度を揃え、同時に莖節の高さも揃えます。方法は小さな芽、普通の莖節の半分以下の大きさの芽を摘み取ります。また、新たに発生してくる生育中の未熟な莖節には、花芽ができにくいので、赤っぽい色をした小さな莖節があれば、9月末まで取り続けます。

作業後乾かし気味に育てると、蕾が揃ってつき、一斉に花が咲きます。

3. コスモスをこれからまいて低く育てよう

Q 秋咲き性のコスモスを春にまきましたが、莖が長く伸びて倒れそうになっています。草丈を低く育てる方法はありませんか。

A コスモスはメキシコ原産のキク科の一年草で、短日性植物です。従来のコスモスは1日の日の長さ（日長）が短くなる秋に花芽をつける秋咲き性（遅咲き性）ですが、こんにちではアメリカで育成された開花に対する日長の影響が少なく、タネをまいてから2～3ヶ月で開花する夏咲き性（早咲き性）の改良品種が主流となっています。ところで、最近では秋の景観植物、緑化植物として秋咲きの品種が見直されています。しかし、秋咲きの品種や背の高い品種は早くまくと草丈が伸びすぎて雨や風で倒れやすくなることがあります。

倒れぬように草丈を低く育てるには、タネをまく時期が遅くなっても開花時期は同じなので、7月になってからタネまきをして9月に草丈が低いままで開花させると、小さな花壇でも十分楽しむことができます。

なお秋咲き性の品種は夜の暗い時間が長くなると花芽をつくりません。逆に夜が明るいと花芽をつくらないので街灯や門灯の近くで育てるのは避けます。

4. 月下美人の花を咲かせるコツ

Q 月下美人が十分成長して大きな株に育っているのに花が咲きません。花を咲かせる方法を教えてください。

A 暑さ厳しい夏を過ぎた9月から10月は最もよく花が咲く時期です。この時期に確実に花を咲かせるにはコツがあります。

主な成長期は鉢を戸外に出す4月下旬から7月です。この時期は日焼けしない程度の戸外の明るい日陰に置き、水と肥料を十分に与えて、株を充実させます。

水やりは週2～3回、肥料は緩効性化成肥料の置き肥を月に1回、追肥は液体肥料を2週間に1回施します。花を咲かせるための肥料の調節は、7月10日を過ぎたら肥料やりを止めます。8月には肥料の効果が切れて無肥料状態になるようにします。

水のやり方は8月になったら週1～2回に回数を減らします。8月上旬には1週間全く水を与えない時期をつくりません。すると無肥料の効果と相まって、蕾がついてきます。蕾が見えてきたら、週3回位の水やりに戻します。10月からは徐々に回数を減らして、12月から3月まで休眠に入っているので水は与えません。暖房により温度があつて、生育中なら週1～2回与えます。

5. 秋ナスを楽しむための切り戻し

Q 真夏を過ぎる頃から草勢が衰えて実が堅くなってつやがなくなり、大きくなりません。どうしたらよいでしょう。

A ナスはインド原産の比較的高温を好む作物で、枝が伸びながら、花をつけて秋まで実がなり続ける性質があります。ところが夏の高温、乾燥や、収穫したナスが養分をとってしまったことなどにより、株が弱って実が小さくなってきます。

秋においしい実を収穫する方法として真夏の暑い時期は枝を剪定して休ませるようにします。

7月下旬～8月上旬にかけて各枝を適当に切り詰めておきます。このときあまり切り詰めすぎると枝が枯れたり、新しい芽が出てこないことがあります。実がなっていた枝のつけ根に必ずわき芽がありますから、そのわき芽を残して枝先から切り詰めます。そして切り詰めたら必ず肥料を与えます。たとえば化成肥料（8:8:8）1株当たり10gを施します。

この様にすると残ったわき芽が勢いよく育って、切り戻して1ヵ月後くらいから、また新しい実がなりはじめ、秋には再び果肉の締まった質のよい「秋ナス」が収穫できます。

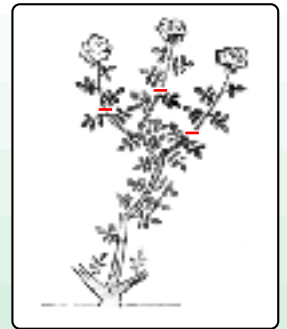
6. 四季咲きバラの夏の剪定

Q 今まで次々と咲き続けていたバラが暑さのためか花が小さくなってきました。秋には美しい花を楽しみたいと思います。剪定方法を教えてください。

A 四季咲きバラは夏には高温、乾燥が続き、枝が伸びず花も小さくなってきます。気候の安定する10月中旬に枝が長く、太くしっかりした花を楽しむために8月下旬から9月上旬に剪定をします。

剪定方法は株が夏の暑さで弱り、台風により葉が落ちたりしているの、株を再生させるために葉をできるだけ多く残すようにします。

よい枝を出させるには元気な葉が剪定後にどれくらい残るかで決まります。生育中に深く切って整理しすぎると芽の動きが悪くなるので、木の高さの3分の2ぐらいを残すのを原則として、5枚葉の約5ミリほど上を切ります。その時外側を向いている芽を残すようにして、どの枝にもよく日が当たるようにします。同時に枯れた枝、細い枝は花が咲かないので切ります。



一庫公園 菊炭のふるさと

協会職員 奥山佐企子

兵庫県の東の端を流れる猪名川。一庫大路次川（ひとくらおおろじがわ）は京都府亀岡市、大阪府能勢町を流域とし猪名川に合流する支川のひとつです。ここに一倉ダムが完成したのは昭和59年のこと。このダム湖に半島状に突き出た山を知明山（ちみょうさん）といい、平成10年に県立一庫公園として開園されました。付近一帯は溪谷美のゆたかな景勝地でもあり、猪名川溪谷県立自然公園に指定されています。

はじめてこの地を訪れた方は緑豊かな山々に和むと同時に、一面のクスギ林に驚かれるかもしれません。その樹液に集まる昆虫にはクワガタやカブトムシなどの甲虫類から国蝶オオムラサキなど里山の代表選手が目白押し。「森のレストラン」とも「昆虫酒場」とも表現されるほどです。

このクスギがなぜ一庫の山々を覆っているかというと、炭の原料として植林されてきたからです。クスギ炭は断面が菊の花模様に似て美しく、火つきも火持ちもよく、はぜることもないため、菊炭とよばれ茶道の炭手前（炭点前）に賞用されます。日本各地の菊炭の中でも特に一庫の菊炭は断面の菊模様が美しいと、長年一庫で製炭業を営んでこられた故小笠原修さんは力説されていました。その美しさは文禄4年（1595年）にかの豊臣秀吉が久安寺で行った勸月の茶会（池田市伏尾）で誉めたたえたといわれるほど古くより受け継がれたものです。

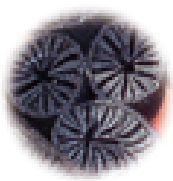
菊炭の材料となるクスギは直径10～15cm程度の真っ直ぐな幹がよく、一庫では8～10年周期で伐採し萌芽させる方法

がとられています。幾度も採集されたクスギは幹が太い台木となるため台場クスギとよばれています。小笠原さんが子供の頃、夜に窯の様子を見に行かされたが、一種異様な形をした台場クスギの姿が暗闇にいくつも浮かびあがるのが怖かったそうです。昼の日差しのなかで、台場クスギの奇妙な形、不思議な存在感に少なからず驚かされます。かつて一庫周辺にはたくさんの台場クスギがあったようですが、燃料革命により木炭の需要が減少し、現在は非常に減っています。放棄された林に行くと、無惨に切り倒された台場クスギを見ることがあります。近年の昆虫ブームで、オオクワガタが生息する台場クスギを切り倒し、破壊して入手するためのようです。何十年もかけた台場クスギを中心とする豊かな生態系がライフスタイルの変化や一時の欲望にあえなく破壊されていくのは残念なことです。

いま、一庫公園ではボランティアが集い、近隣で製炭業を営む今西勝さんの指導も受けながら台場クスギの森の再生に取り組んでいます。4年前から毎年20本程度ずつ伐採し、炭焼き材として利用するとともに、残された株の萌芽再生の様子を観察したり下草を刈ったり、将来立派な台場クスギの林になっていることを夢見て、がんばっています。



（台場クスギ）



平成18年 7～9月 園芸教室のご案内

1講座だけでも受けられます。事前申し込み必要。受講料は1回100円。
日程・申し込み受付開始日は変更になることがあります。

一般講座

| NO. | 日程 | 課題名・内容 | 講師名 | 申込開始日 |
|-----|--------|--|-------|-------|
| 13 | 7/14 金 | 秋～冬のベジタブルガーデン (内容) ホウレンソウ・ダイコン等代表的な秋・冬野菜の作り方。 | 岩本 政美 | 7/ 7 |
| 14 | 7/21 金 | 香りを楽しむハーブの作り方と利用法 (内容) 主なハーブ・薬草の作り方と効能及び利用法。 | 澤田美代治 | 7/14 |
| 15 | 7/23 日 | 森で遊ぼう！②～夏～ ※小学生と保護者対象 (内容) さまざまな樹種について指導員と遊びながら自然について学ぶ。 | 西森由美子 | 7/16 |
| 16 | 7/26 水 | 福助菊の作り方 ※材料費別途600円必要。 (内容) 福助菊展と連携した菊の作り方の講習・福助菊苗の有償配布。 | 原 忠敏 | 7/19 |
| 17 | 8/ 4 金 | 夏の植物を絵手紙で描く ※材料費別途100円必要。 (内容) 植物画展(夏)と連携した、植物を使った絵手紙の描き方の講習。 | 岸野二三子 | 7/28 |
| 18 | 8/25 金 | 新しい秋の草花と秋から冬への花壇づくり (内容) 最近人気のある秋まき草花の種類・作り方、家庭の秋・冬花壇作り | 小山 重示 | 8/18 |
| 19 | 9/ 1 金 | 山野草の寄せ植えと苔玉の作り方 ※材料費別途1,600円必要。 (内容) 山野草・小花木の寄せ植えと苔玉作り実習。 | 澤田美代治 | 8/25 |
| 20 | 9/15 金 | 雑木小品盆栽の作り方 (内容) 主要雑木盆栽の剪定、植え替え法等の年間管理法を解説。 | 西岡 兼治 | 9/ 8 |
| 21 | 9/29 金 | 菊小品盆栽の作り方 (内容) 菊の小品盆栽の作り方と今後の管理法、土づくりを説明。 | 赤井美知夫 | 9/22 |

園芸基礎講座コース (全5回) ※一括受講の形での追加受付できます。受講料は一括1,000円。

| NO. | 日程 | 課題名・内容 | 講師名 | 申込開始日 |
|-----|--------|--|-------|-------|
| 2 | 7/ 2 日 | 植物の形態・生理機能と防除法 (内容) 植物の部位別形態特色と、生理代謝等に及ぼす環境条件の影響。 | 山田 益男 | 随時 |
| 3 | 9/ 3 日 | 土の働きと地ごしらえ (内容) 土の種類と構造や配合法、古土の再生利用法、簡易堆肥の作り方。 | 直原 毅 | 随時 |

専門実技講座コース (全5回) ※一括受講の形での追加受付できます。受講料は一括1,000円。

| NO. | 日程 | 課題名・内容 | 講師名 | 申込開始日 |
|-----|--------|----------------------------|-------|-------|
| 3 | 7/ 9 日 | 庭植え樹木・花木の開花タイプ別剪定法 (内容) 実習 | 佐藤 博司 | 随時 |

参加型講座

※事前申し込み必要。参加は無料です。材料は相談所で用意。

| 日程 | 課題名・内容 | 講師名 | 申込開始日 |
|--------|--|-------|-------|
| 8/20 日 | 樹木観察作品展(夏) 夏を描こう！ (内容) 3枚程度の樹木の葉を写実することで樹木の生態を学ぶ。 | 岸野二三子 | 8/ 2 |
| 9/24 日 | 樹木観察作品展(秋) 秋を描こう！ (内容) 紅葉の葉を写実することで季節に伴う樹木の変化を学ぶ。 | 岸野二三子 | 9/15 |

兵庫県 緑の相談所

■主な業務内容

- 1 花と緑についての相談
- 2 園芸教室
- 3 花の苗販売 毎週土・日曜日
【販売時間】13:00～15:30 【場所】相談所ロビー
- 4 シードバンク 毎月第2及び第4土・日曜日
【交換会の時間】13:00～15:30 【場所】相談所ロビー
- 5 図書の閲覧 毎週水・土・日曜日の10:00～12:00

■業務日・時間 毎日9:00～17:00(火曜日及び12/29～1/3を除く)
Eメール: info_midori@hyogopark.com

●写真提供:田中 克朋

緑の相談所では、シードバンクなど花と緑に関する活動の運営企画を職員と一緒にやっていこう、というボランティアを募っています。
お気軽に相談所に声を掛けて下さい。



5号 (2006年7月発行・年4回)

(財)兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所
〒673-0847 明石市明石公園1-27
TEL/FAX. (078) 918-2405